

学校評価報告書(文京区立 昭和小 学校)

NO. 1

1 今年度は、二人の教員が途中で担任交代を行った。一人は退職、一人は病気休職である。管理職としてアンテナを高くし、児童と教員の関係をしっかりと把握していたつもりだが、突然の休みで他の教職員も驚きを隠せなかった。今後職員の言動をしっかりと把握し、早めの対応を心掛けていきたい。

2 不登校傾向や保健室登校の児童がいる。様々な原因での不登校傾向だが、連絡を密にし、保護者との連携を行ってきた。SCとも情報共有し対応した。結果として、改善傾向にあるが、今後もケース会議等早めの対応を考えていく。

3 児童は全体的に落ち着きがあり、授業への集中力も高い。今後も学習規律、話し合い活動の充実を目指していきたい。

4 体力の向上は、短縄、持久走、長縄と学期ごとに継続的に取り決めた。今後も続けることと、体育学習時での運動量の確保を行っていく。そのための実技研修会を計画する。

重点目標	中期経営目標	短期経営目標	具体的取組	自己評価		次年度に向けての改善策
				達成状況	評価	
学校教育目標・経営の基本方針	人間尊重の精神を基調とした明るく平和な社会の形成者として、知・徳・体の調和の取れた人間性豊かな児童の育成を目指す。「自ら進んで学び、よく考える子」「自然や人を愛し、共に生きる子」「責任をもって、根気強くやり抜く子」「運動に親しみ、丈夫な体をつくる子」の育成。	法令や規則等の規準、教育推進計画に示された理念に基づいた学校運営を行い保護者や区民の信頼に応える。一人ひとりの子供が大切にされ、確かな学力と豊かな社会性が育つ学校を目指す。学習環境や生活環境の整備と美化に努める。子供、教師、保護者、地域住民が信頼し合い共に学び、育つ学校づくりに努める。教師の資質の向上と組織的な教育力の向	教職員の共通理解のもと、生活指導の体制を強化し、児童一人一人の心を理解し、あたたかな指導を進める。 <u>・共感的理解についての指導法OJT・ケース会議を続けていく。</u>	・心のアンケートの実施はできた。アンケートももとにした共通理解、児童の情報交換が行われなかった。 ・共感的な児童対応、指導が徹底できなかった。	C	・児童への心のアンケートは継続していく。アンケートの内容をもとに児童の共通理解と、具体的な指導を、研修を通して身に付けて行かせる。
			クラス遊びや体育の授業を充実させ、みんなで遊ぶ楽しさを味わわせるとともに、児童の体力の向上に努めている <u>・休み時間には遊ぶ場所に行かせる。声をかけ続ける。</u> <u>・朝会、集会のある月・水・金の朝遊びは、8時10分までとする。</u> <u>・運動朝会、長距離走カードの取組</u>	・元気に外遊びができた。運動朝会も短縄、持久走、大縄と学期ごと継続して行われた。		

(評価基準 A: B: C: (D:))

学校評価報告書(文京区立 昭和小 学校)

NO. 2

重点目標	中期経営目標	短期経営目標	具体的取組	自己評価		次年度に向けての改善策
				達成状況	評価	

確かな学力の育成	学習指導要領の趣旨を踏まえ、学習意欲を高め、思考力・判断力・表現力を育てる。	友達とのかかわりの中で、学び合い、深め合う機会を作る。 少人数指導、チームティーチングの活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 個々の理解状況に合わせて、基礎学力の定着を図る指導を工夫している ・<u>少人数算数の指導方針(採点基準や宿題も)について、統一見解をもつ。</u> ・<u>習熟度別指導のOJTを行う。</u> ・<u>低学年も習熟度別を実施しながら、問題点を解決する方向で話し合う。</u> 「わかった」「できた」という喜びのある指導をしている ・<u>学習カード、ノート指導、学習感想の記入など、全校で共通理解して指導する。</u> ・<u>教師の励ましの言葉を心がける。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生用に作成した習熟度別コースの説明が子どもにも保護者にもよかった。コースごときちんとした指導ができた。 ・1年生からの習熟度別は難しい。指導内容の押さえ方が教師によって異なった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の算数少人数は、学習や生活ルールの確立時期とバランスを考え、実施していきたい。最初はT2でも構わない。 ・学習内容、評価規準、採点基準を共通理解し行っていく。
			<ul style="list-style-type: none"> 授業は、子どもにとって分かりやすい内容である ・<u>教材開発、指導の工夫など、教師が授業研究したことを全教員で共有化する。</u> ・<u>各学年の工夫、具体的事例の報告もOJTに加える。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート指導など共通して指導する内容が共通理解できていない。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会を設定しノート指導、教師のコメント、学習規律の共通理解をさせていく。
				<ul style="list-style-type: none"> ・会議後のOJTが定着してきた。一時間のねらいを明確にした授業展開が少ない。また、理解が不十分な児童への対応が薄かった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の時間を充実させ、学力定着の把握をしていく。理解不足児童へは、個別の課題や、取り出し指導でたいおうする。
豊かな心の育成	深い児童理解と教育愛に立脚した指導を行い、豊かな人間性を育む。	子どもたち一人一人が活躍できる場を設定し、自己有用感を高める。思いやりのある言動、精一杯力を発揮した活動などを賞揚し、活動意欲を高めるとともに、他の児童の模範とする。配慮を要する児童や特別な支援を要する児童については、全教職員が共通理解を深めるとともに、関係諸機関と連携し、適切な方策を探る。	<ul style="list-style-type: none"> 人のために役立つ喜びを味わわせている ・OJTの内容を毎年必要に応じて変える。 ・4月の職員会議で当番と係の違いについて確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスでの係り活動や、話し合い活動の充実を目指してきた。話し合い活動や係り活動の共通理解まで行かなかった。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生からの学級会(話し合い活動)の充実を、指導教諭(特別活動)を中心に行う。
			<ul style="list-style-type: none"> 都や区のスクールカウンセラーを活用して、いじめや不登校、特別支援などの課題に取り組んでいる ・必要に応じて、年度当初に支援目標を作成し、保護者や関係機関とも連携を図りながら、個別ケース会議を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの把握、対応は「心のアンケート」年4回実施や、日頃の児童観察などから、素早い対応ができた。ケース会議もその都度行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も、年間4回のアンケートを行う。不登校傾向児童や特別支援の必要な児童の情報教諭を行い、すべての教員が児童理解に努める。
			<ul style="list-style-type: none"> 話の聞き方や発表の仕方などの学習のルールが守られた中で指導を行っている ・低学年で聞く姿勢や体育の集団行動の型をきちんと身に付けさせる。 ・全校朝会のやり方を、「休め」のタイミングやおじぎの仕方など細かいところまで徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校朝会での「おはようございます」と言うてからの礼は、統一されてきた。学習のルールの徹底がクラスごとまちまちであった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会等で統一する段階を追って統一する学習ルールや、ユニバーサルデザインの掲示方法など共通に対応させる。
豊かな心	深い児童理解と教育愛に立脚した指導を行い、豊かな人間性を育む。	子どもたち一人一人が活躍できる場を設定し、自己有用感を高める。思いやりのある言動、精一杯力を発揮した活動などを賞揚し、活動意欲を高めるとともに、他の児童の模範とする。	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活で起きた問題(いじめ等)に対して、素早く適切に対応している ・常設や金曜夕会での情報共有 ・ケース会議・いじめ等校内対策委員会・保護者との情報の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きないじめ問題につながる事案はなかったが、からかいや、嫌がらせなど、ちょっとしたトラブルを機にいじめなど広がる可能性がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・金曜日の生活指導夕会では、いじめやトラブルに関しての情報交換を行わせる。

この育成		配慮を要する児童や特別な支援を要する児童については、全教職員が共通理解を深めるとともに、関係諸機関と連携し、適切な方策を探る。			
------	--	---	--	--	--

学校評価報告書(文京区立 昭和小 学校)

NO. 3

重点目標	中期経営目標	短期経営目標	具体的取組	自己評価		次年度に向けての改善策
				達成状況	評価	
健やかな心身の育成	困難なことがあっても前向きに取り組む、克服していける力を養うため、強靱な精神力と健康・体力を培う。	児童の性格や能力を十分把握し、適切な目標を設定する。目標を達成するための手立てについて、適切な助言を行う。健康や体力増進について関心をもたせる。安心・安全な給食作りに努めている。我慢する場面を意図的に設定する。	あいさつなどの基本的な生活習慣の育成に向けて、一年間を通して計画的に取り組んでいる ・挨拶運動は高学年が取り組んで手本を見せる。ねらいや意味を理解させて行う。 ・カードの取り組み、あいさつにもわかりやすい標語を作る。 ・保護者にも挨拶運動での協力を呼びかける。	・代表委員会が挨拶運動に加わり、元気な挨拶が聞こえてきた。校長も毎日正門での見守り、あいさつ指導を行っているが、以前よりあいさつを交わす児童は多くなった。	B	・今後も、児童代表を定期的に配置し、全校でのあいさつ運動にしていく。また、保護者ボランティアの参加も募る。 ・教職員も積極的に挨拶を続けていく。
			手洗い・うがい等の健康教育を一年間を通して計画的に取り組んでいる ・ハンカチや手洗いよびかけ(学級・ほけんだより・保健委員会)ハンカチ調べ(委員会)	・保健指導は学期ごと定期的に行っている。手洗い、うがいの励行は不十分であった。	B	・1年生のスタートカリキュラムに、ハンカチの使い方、たたみ方をいれて、ハンカチの携帯を習慣化する。
			給食の安全への取り組みを日常的に行っている ・給-2(各学年の指導も考慮して改善)を参照して各学年で統一して指導 ・食堂として衛生的に使用する際のきまりも合わせて記載する。	・今年度は食器の破損が多かった。 ・ランチルームの使用回数も、給食、食育以外の使用回数は減った。	B	・来年度も、食育、給食指導以外の使用は控えさせていきたい。 ・朝の時間を使用し、食器破損の原因について考えさせていく。
			季節や旬に応じた食材などを取り入れ、集団で食事をする楽しさを味わわせている	・旬の食材が取り入れられよかった。 ・ランチルームでの食育を始めると、食べる時間が短くなった。	B	・朝学習の時間を使用し、食育教育を担当が行う時間を設ける。ランチルームでは楽しく食べる時間を多くとる。
地域連携との	地域の中の学校	家庭の教育力・地域の教育力との連携を図る。地域の人材・教材	地域の方々や、地域の環境・施設を積極的に活用した教育活動を行っている ・学校と地域をつなぐ人材をPTAな	・3年生のそろばん指導や地域の昔の様子学習では地域の方にご指導	D	・今年以上に、地域の方々を外部講

	こしし、地域愛・郷土愛を育む。	の活用を図る。学校だよりやホームページを効果的に活用する。	どの協力で決め、教員の要請と地域をつなぐ。その上で、保護者や地域の方に講師などを依頼し、専門性を生かした教育を展開する。	・餅つき大会では、教員と地域の方やPTAと協力し楽しい会ができた。	D	師と招いていきたい。

(評価基準 A: B: C: (D:))

学校評価報告書(文京区立 昭和小 学校)

NO. 4

重点目標	中期経営目標	短期経営目標	具体的取組	自己評価		次年度に向けての改善策
				達成状況	評価	
特色ある教育活動	歴史や伝統を踏まえ、昭和小学校ならではの教育活動を展開する。	保護者や地域のニーズを的確に把握し、子どもたちが意欲をもって取り組める活動を行う。	縦割りによる異学年集団の活動に年間を通して取り組むことにより、児童の思いやる心情、所属意識、愛校心を育てている ・全校遠足の来年度以降の方針を全体で確認する。	・赤塚公園での全校遠足を行い、今までの伝統が継承された。	A	・本校の縦割り班活動の伝統行事として、赤塚公園での遠足を行っていく。
			4、5、6年の鼓笛演奏活動を本校の伝統的な教育活動として位置づけ、活動内容を充実させている ・音楽専科・学年共に、マナー・楽器の扱いを徹底。個々の児童が楽器を乱雑に扱っている等を見かけたときに、全職員がその場で声かけて指導する。	・鼓笛行進は本校の伝統であり、特色ある教育活動である。楽器は高価なものなので、大切に扱うよう、すべての教員が指導しているが、徹底できていない。	B	・鼓笛演奏は毎週の朝会で行っている。来年度も朝会や交通安全パレードでの演奏、運動会での4年生の鼓笛を伝統行事として行っていく。
			オープンスペース、多目的ホール、屋上など、施設の特徴を生かし、多様な教育活動を展開している ・ランチルームの実情を周知し、使用を絞り込む。	・今年度のランチルーム使用については、衛生上の理由から、使用回数を少なくしてきた。	B	・衛生面に配慮しつつ、使用に適した会議は行っていく。
運営	教育目標の達成に向けて、効果的な組織運営を	校務分掌や主任制などを適切に機能させ、組織的な運営	職員会議が学校運営において有効に機能している ・木・月にずらせる提案は金曜にしない。 ・簡単な提案内容や提出物の締切日などをまとめてボードに掲示する。その確認は司会が手短に行う。	・以前より起案を提出するようになったが、まだ不十分である。 ・職員会議で、参考意見が多く出るよう工夫したい。	B	・起案一決裁一決裁箱と流れを確実に行う。起案締切予定日を明記する。事前に目を通しておき、会議では、検討事項のみ話し合う。

組織	行い、教育水準の向上を図る。	責任体制を整備する。	各文書や個人情報などの情報の取扱方針の周知がされ、適切に管理されている	・児童名が分かる文書が目に見える形で置かれていた。	B	・個人情報をしっかり意識して、分書作成を行う。
その他			・OJTを職員会議後10～15分行う。必要度の高い内容とする。 ・あゆみの裏面に児童名を入れる。	・職員会議後半のOJTは先生方の参考になった。よかったと思う教員が多い。	A	・時間愛にできるよう、会議の時間、OJTの時間と明記していく。 ・来年度は「指導教諭」に学級会のやり方や、委員会指導のポイントを指導する時間を入れる。
			・貸し出し用の上履きが足りないので、募集する。	・貸し出し用の上履きが足りなかった。	C	・学年末の児童、保護者に声をかけ、各学年で貸し出し用の上履きをそろえておく。

(評価基準 A: B: C: (D:))

学校評価報告書(文京区立 昭和小 学校)

NO. 5

重点目標	中期経営目標	短期経営目標	具体的取組	自己評価		次年度に向けての改善策
				達成状況	評価	
			・代表委員会紹介集会、委員会紹介集会、なかよしリーダー紹介集会は、教育計画に入れる。 ・集会委員会は児童の作ったポスターを職員室にも届ける。	・各委員会の仕事内容、代表委員会の活動が見えてこない。	B	・委員会の紹介やメンバーの顔写真などPRするコーナーをつくる。
			・給食後の歯磨きは、施設面時間面から考え難いため来年度は行わない。・6月の学校歯科医による染め出しは、土曜授業公開、2年生で指導していく。また、継続指導の一環で学童歯磨き大会(ネット配信)に5年生を参加させる。	・今年度は、歯磨き指導を土曜公開日を使用し、保護者と行った。	B	・来年度も土曜公開日での歯磨き指導を行う。給食後の歯磨きは、施設面から全員で行うのは無理である。 ・希望者がいた場合は行わせる。

その他		<ul style="list-style-type: none"> ・学習教室の持ち方について新年度計画で共通理解をもつ。 ・朝会での校歌は教職員も一緒に歌って児童の歌を向上させていく。 ・学習発表会の会場設営を6hカットで行うかは、授業時数全体を見て決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習教室は小石川高校生が補助に入り熱心な取組が見られた。 ・行事の会場準備など休憩時間から行うことがあった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の学習教室の開催時間、グループ編成、学習内容、高校生の児童へのかかわり方など打ち合わせを行う。 ・会場準備は6校時カットで早い時間から行う。

(評価基準 A: B: C: (D:)

学校評価報告書(文京区立 昭和小 学校)

NO. 6

<p><学校の自己評価及び関係者評価を踏まえた教育委員会への要望事項></p> <p>1 緊急を要する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、途中での退職者(3年生担任)と2学期からの病気休職者(6年生担任)が出てしまった。心身の不調に気づかず、また本人の真面目な性格もあり、周りのケア不足を感じている。学校は第一に子供優先を考える。副校長が6年担任として急きょ入ったが、事務仕事と担任の両方はきつかった。今後、緊急時の対応を学校とさらに連携してほしい。 <p>2 財政面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重教育推進校として、いろいろとご協力いただいた。感謝いたします。 <p>3 人事面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優秀な人材を配置していただきました。 <p>4 設備面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・築20年近くたつので、ところどころ破損が目立つ。対応を願う。 <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし
--

